

ブラッセル日本人学校における新型コロナウイルス感染症への対応について
(第九報)

盛夏の候、皆様におかれましてはますますご健勝のこととお喜び申し上げます。日頃から本校教育活動の推進につきまして、ご理解とご協力を賜り、誠にありがとうございます。

6月3日(水)の国家安全保障会議で、6月8日(月)からの外出規制解除計画「フェーズ3」への移行が認められました。この時、これまでは『禁止があり一部例外的に自由があった。これからは自由があり一部例外的な禁止がある。』との表現に少し明るい気持ちになりました。

6月24日(水)に行われた国家安全保障会議により決定された、7月1日(水)からの外出規制解除「フェーズ4」への移行により、長かったトンネルを抜けやっと当たり前の日常が戻ってくる予感がしました。しかしながら同時に、近隣諸国においてクラスター発生のニュース等に接するなど、気を抜いてはならぬという警鐘を鳴らされている気もしています。もちろんのことですが第二波の発生はあるものと考えた備えは必須と思っています。

本校教職員のPCR検査陽性報告においても、とても落ち着いてご対応頂きました。また、ご心配をおかけしているにもかかわらず、多くの励ましの言葉を頂きましたことに改めて深謝申し上げます。その後、すぐに部分登校を再開できたことは、日頃から本校の教育活動に対しまして皆様方のご理解とご協力あってこそと改めて胸にしみました。これからも保健衛生面の取組等、徹底して参りますので宜しくお願い致します。

今後とも常に関係機関と連携し正しい情報の収集に努めながら状況の変化に即時対応することを心がけて参ります。これまで通り、ブラッセル日本人学校の関係者として矜持をもって落ち着いて行動していきましょう。

記

1 令和2年度新赴任教員の着任について

7月13日(月)に新赴任の教頭はじめ7名の教諭が当地ベルギーに無事到着したことをご報告します。すでに日本にありながらオンラインの授業を通じて職務を遂行していましたが、14日間の自宅待機を経て正式に着任します。14日間の自宅待機中においてもオンライン授業を行います。14日間の自宅待機中に入りますので、皆様と対面してのご挨拶ができるのは2学期からとなりますことをご了承ください。

2 2学期からの授業形態について

2学期始業式を8月17日(月)に実施します。これをもちまして2学期の始まりとなりますが一つ懸念があります。それは、現地校の新学期の始まりが9月1日(火)であることです。よって、当地における新型コロナウイルス感染症への対応方針が示される前に本校新学期が始まる可能性があります。

第八報において、『2学期の授業形態については①令和2年度新派遣教員の派遣が実現しているか②保健安全面のルールが緩和されているかなどの要素次第となりますので、ご心配をおかけしますが現時点ではまだ明確な方針をお示しすることはできません。7月末までに情報収集をおこない8月上旬なるべく早く方針を示したいと思っておりますので、児童生徒用 Gmail の確認をお願い致します。』としておりました。

①令和2年度新派遣教員の派遣については実現しております。②保健安全面のルールが緩和されているかなどの要素につきましては、フランス語圏教育省ホームページに今後の方針が示されております。7月8日(水)にアップデートされておりますが、パンデミックレベルがゼロリスクの「緑」から高リスクの「赤」まで4段階で示されており、9月からは現状であれば危険度低「黄」でスタートすると書かれています。

しかしながら、8月18日(火)にアップデートすると予告しており、その際に現地校の新学期である9月1日(火)からのパンデミックレベルを示す可能性が高いと考えられます。

まとめますと、

①9月からの新学期は危険度低(黄色)でスタートする可能性がある。ただし、確定的な方針がいつだされるかわからない。(現地校9月1日スタートにあわせて示される可能性が高い)

②次のアップデートは8月18日(火)と予告されている。この内容により学校運営が左右される可能性がある。

③これまでの保健衛生上のルールが課せられると通常以上のマンパワーを必要とする状態は変わらない。(新赴任者は到着しましたから、担任不在のクラスはなくなりましたが、さらに毎日の全教室、トイレ、手洗い場等の児童生徒動線の消毒、トイレにおけるソーシャル・ディスタンス確保の困難性、中学部の一グループ14人以下ルールによりクラス増のため、やはり指導者が不足する等)

④スクールバス運行についても現状では確定的な情報を得られていません。(すでに通常以上の衛生レベルが求められ、毎日の消毒が義務づけられているなどコスト面での負担が求められていることはわかっています) 全校登校ができる段階ではスクールバスの運行が必須と考えております。

よって、2学期最初の2週間について以下のように運営して参りたいと思います。

①8月17日(月) オンライン始業式のみとする。

②8月18日(火)～8月21日(金)の4日間インターネットによる授業を実施します。

※ただし、正式の学校登校時間を意識して8時30分～16時20分(学部学年によって違います)を目安に実施します。

※水曜日の午後は習い事等に当てる日ということでこれまで通り午前中オンライン授業とします。

③8月24日(月)～8月28日(金)

インターネットによる授業と部分登校を並行して実施します。(部分登校はお弁当なしの午前中のみとします)

※14日間の自宅待機対象児童生徒は、自分の部分登校が24日(月)になったとして、8月10日(月)までにベルギーに帰っているならば参加できることとなります。

④8月31日(月)～通常の学校登校を実施します。

※14日間の自宅待機対象児童生徒は部分登校中はインターネットによる授業を行いますから、8月17日(月)にベルギーに帰っていると8月31日(月)から登校できることとなります。勿論、部分登校については自宅待機中もオンラインでの参加で出席扱いとします。

最初の2週間は児童生徒において1日の登校リズムを徐々に取り戻す期間として、本校においては9月1日からの現地校ルールの判断を見定め、本格的な通常登校の準備(保健安全上の配慮について対策を行う)をするモラトリアム期間と位置づけることとします。

以上、あくまでも希望的観測に基づく本校におけるグリーン計画です。また、状況に変更が求められる事態が生じましたら、都度ご連絡差し上げます。

2 登校時の新型コロナウイルス感染症への対応における注意事項について

(1) 朝の検温をしっかり実施してほしいと思います。体調不良に関しては登校をしないという原則の徹底をお願いします。子供たちは登校日を楽しみにしてくれています。ですからなおさら発熱等を見逃してしまうということがないようにご配慮願います。

(2) 新型コロナウイルス感染症については、第二波の到来が予測されています。また、ウイルスがすでに複数に変異しているとの情報もあります。換気や手洗い等日常的にできる対策については継続していきます。

3 その他

(1) 大使館には必ず「在留届」を届け出てください。(在留届を届け出ることによって、大使館領事部より最新情報がEメールで配信されるようになります。)

(2) ベルギー国外、特に隣接する国や旅行や出張で訪れる国の情報を得るためには、「たびレジ」に登録することで、管轄の在外公館が発出する情報がEメールで配信されるようになります。デモや政情不安、テロ等危険情報入手は勿論のこと、各国の新型コロナウイルス感染症の状況について広く情報を入手し、できる限りの注意を払ってください。

(3) 現地ベルギー外務省が示す「緑」エリアについては、これまで渡航先国の方針としてベルギーからの渡航を受け入れることを示すのみの情報にとどまっていたが、昨今、それに加えて免疫学的観点からの安全指標や、危険地域から戻った場合に執るべき対応(隔離、検査など)も示されるようになりました。情報は非常に頻りに更新されておりますので、旅行中に突然条件付き渡航可能国が変わるといった例もあるかもしれません。予期せず強制的検査の必要性や、14日自宅待機ルールに服することになるなど、この夏は様々なことが予想されますので、危険情報取得に細心の注意を払い、少しでも心配な要因があった場合は躊躇なく計画を撤回し帰国するなど対応をお願い致します。

(4) 第2回英語検定(4級, 3級, 準2級, 2級)を10月11日(日)に予定しています。申込書の配布は8月17日(月)です。担当よりメールにて各ご家庭へ一斉送付します。申し込み期限など詳しい内容については、配付される申込書でご確認ください。

なお、申し込み後に新型コロナウイルス感染症の影響でやむを得ず中止になった場合、受験料が返金できないことがあります。予めご了承ください。

先の見通せない不安な状況が続きます。「励まし合い、高め合い、志し高く」の精神で乗り切って参りましょう。

○ この件に関してご不明な点は、担当までご連絡ください。

担当 岡田 真治 矢野千恵子 電話 日本人学校(02)672-1038